行政裁判法　矢第八　一

古葉略類聚鈔 冬 第八

荻野藏

罠 師 道 儛 槁 井
屋舍（住居屋ハヤ） 垣 籬 簀 廂 薦
杭 黄楊 菅 鷹 手 玉盌
銃 樗 薄 琴 ラ 鉋
筐 籠 屨 杖 鐘 數
久須寧（クルヽ） 名有（タヽリ）針 幕 挽 飯 酒
墓（焚火燒服付市場） 衣 玉衣 倉 家 袖

帶紐 玉手次 領有條

古事類苑 職官部第八

付録

筆中卿賜大伴宿祢家持歌廿四首中

長手中行迴乃里今有各半不知曽人皆待跡不来家鴨

石川朝臣廣成歌 後賜姓高圓朝臣也

家人今寐過目八方川清鳴泉之里今年之暦去者

能個往箕之里今妹平豆而心乎在来者路無

万千分千乃委遠利乃里二父母乎置乃長通公主手母矢久

古卿

和銅二年戊申春二月従藤原宮遷于寧楽宮時作歌

長屋原古郷作歌　一書云太上天皇御製

飛鳥ノアスカノ里ヲ置キテハ君ガ往ユカム見ツツモアラム

長屋王古卿ニ

吾背子ガ古家ノ里ニ明ケ来ナバ鶏鳴ケドモ我ハ寝ネメヤモ

三年丙戌大納言大伴卿在京師之家而遥聞芳野離宮之所作歌

隼人ノ瀬戸ノ巌モ年魚走ル吉野ノ滝ニ及カジモノ

古歌集ニ見エタル歌

古ニ恋フル鳥カモ弓絃葉ノ御井ノ上ニ鳴キ渡リユク

古挽歌

田辺福麻呂歌集

三年春正月毛利老公明香川尚瀬ノ両処ニ石走ル

同

墓朝臣金村　伝誤云車持

吾背子ガ跡ヲ慕ヒ来レバ山高ミ川ナガレテ巌モトホシ

不破ノ宮大伴ノ家持ニ

関モ有ハ越エテモ来ナム不破ノ関ヨ障ラズ早来ネ

中臣朝臣宅守ガ狭野弟上娘子ニ与フル歌　娘子ハ中臣ノ宅守ガ妻ナリ

上ツ毛野安蘇ノ真麻群ノ如ヲ我ハ思フ妹ヲ夢ニ見ルマデ

夫平感寄八九十五月五日高余来会ヨリ古張琵琶仮像手業不下ハ
学大伴ニ家移送酒傷三十一番

夜伎多久平刀今長能物伎今日又今元里教ヤリソ君ヨシ

道

参訊岐岳世ニ真人間人作ニ平　八十二首

二

築羽根笑世耳見ケニ有金手寄清乃通笑名積来利鴨

石川郎女歌　即依傳大伴人宿祢

三

着日野ニ富通平与管理ヨカヨニ君ヨ三又ツ号ヲ

四

寄衣井ニ往直通者雑有君今将相参他国来ヲ

五

待ク宝通国ニ帝ニ成来ル来下

雑陳七

四

豊前ヲ来ニ通平人真向在ケニ久来曲通為

二

紀ヲ禰方通平中岂与ヲ管将通ヨヲ弥来尺

三

新治今作路清河鴨味セ事多　九集中和之禅

五

鼠ヨ道ク芝蔵乃玉葉刻鴨君久待不来　羅振玉

六

百石来世向ニ物道和石持路名往席音来座天宮前ニ

百石来世往ニ物道和石陳路ヒ来ヨ言ヲ使人等見

右件歌者伝云昔有采女也姓氏未詳但以隷仕采女之色
為風流之所感偏得恩幸于時采女既違法期

小盥 ハンゲ 板田乃橋 イタダノハシ 擬宝珠 ギボシ 欄干 ランカン 擬 マガイ 葉 ハ 花 ハナ 実 ミ 各 オノオノ 種 シュ 有 アリ

天在一珊梅 テンザイイッサンバイ 行時 ユクトキ 稱 ショウ 草 クサ 而 シテ 二 ニ 実 ミ 一 イツ 歳 サイ 作 ツクル 人 ヒト 参 マイル 薬 クスリ 用 モチユ

くりの名 クリノナ

アマナ 安久奈 アクナ 高 タカキ 処 トコロ 山 ヤマ 野 ノ 多 オオク 生 ショウス 公 オオヤケ

三ケ年 サンガネン 作 ツクル 野 ノ 菜 ナ 如 ゴトク 食 ショクス 救 スクウ 荒 コウ 法 ホウ

井

遠 トオシ 清井 キヨキイ 見 ミル 銭 ゼニ 利 リ 用 モチユ 像 カタドル 女 オンナ 形 カタチ 三 ミツ 作 ツクル

浦 ウラ 井 イ 乃 ノ 名 ナ 多 オオク 一 イツ 所 トコロ 二 ニ 有 アリ 之 コレ

鹿 シカ 島 シマ 清 キヨキ 白 シラ 浪 ナミ 三 ミツ 田 タ 山 ヤマ 行 ユク 時 トキ 越 コス 峠 トウゲ 宮 ミヤ 武 タケル 蔵 クラ 国 クニ

右三首 ミギサンシュ 今 イマ 事 コト 未 イマダ 似 ニタリ 井 イ 水 ミズ 不 アラ 汲 クミ 故 ユエ 詠 ヨム 古 イニシエ 三 ミツ

坂 サカ 田 タ 清 キヨキ 井 イ 水 ミズ 清 キヨキ 有 アリ 者 モノ 廃 スタル 者 モノ 各 オノオノ 七 ナナ 所 トコロ 在 アリ 所 トコロ

女 オンナ 池 イケ 成 ナス 禁 イマシメ 之 コレ 君 キミ 守 マモル 井 イ 水 ミズ 者 モノ 雑 ザツ 飲 インス 不 ズ 可 ベカラ

那賀郡 ナカノコオリ 勝井 カツイ 三 ミツ 一 ツ 首

三栗乃中 ミツクリノナカ 今 イマ 勝井乃不絶 カツイノタエズ 将 マサニ 通 カヨハン 彼 カノ 而 シカシテ 今 イマ 妻 ツマ 我

勝 カツ 法 ホウ 麻 マ 真 マ 間 マ 娘 子 オトメ 三 ミツ 一 ツ 首 附 ツケタリ 井 イ 柱 ハシラ 并 ナラビニ 歌 ウタ 載 ノス 于 ニ 後 ノチ

勝法麻真間之井 カツホウママノイ 有 アリ 者 モノ 之 コレ 手 テ 児 コ 不 ズ 汲 クミ 而 シテ 将 マサニ 老 オイ 成 ナラン 哉 カナ

小島乃五十間 コジマノイソマ 井 イ 者 モノ 自 ミズカラ 然 シカ 成 ナス 鏡 カガミ 平 タイラ 坂 サカ 清 キヨキ 水 ミズ 出 イヅル 山 ヤマ 下 シタ 清 キヨキ 水 ミズ 出 イヅル

相撲

行錄

一 三日相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

二 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

三 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

四 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

五 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

六 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

七 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

八 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

九 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十一 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十二 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十三 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十四 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

十五 国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ関東ヨリ召ス者ノ外ハ、国々ノ相撲ニ

諫

論

諫

枕

膚枕

手枕

手貫主弄一首　吟　手煙弄

玉恵

鉄

梅

第

夏

大津絵節

劒刀諸利足跡死ヽ不依
ロキモコニテヒロクヘルキタチ名情念不得 口
劒刀身全佩剣流大史也恵三物手ニ入ロヲナム
ルキタチ諸刃ニシテ物者鋸ヲ而敗鞘時死恵言不有ル
面鼻手言聽鶴劒刀身剣様ニ来下
玉劒表宿様ニ有者許言夜ニ長モ歌有信吉
鳥羅劒ニシテ是来遣故死再見ル君手遣故参手
ロヲ多チクノヒケクモ見ルナシコヽロノ間ノコトニシテキニ
三徳国劒人田造工早鉄使主ニ中ニ文手
サ[illegible]ヲ[illegible]

武蔵国劒人正工 井門親橋而全人石前ニ恵大倖真ヒ
ロ 麻呂良ヲクコニヒリ八年麻リ本ニ依品我馬俊元恭ニ良ヲ

智二 サヽ在言ヲ一

工 音妹子ニ袖手帰ヲ真郎浦ニサ言乃笠手本着来ニ来
二 埴津旗開江ニ言手ニ立ニ逢時着日手待参手言俵来
二 旧里難波言ノ笠員古ニ後者誰時着ニ有真間 着
二 三嶋言来苗在時待着不着ヒ成ニ嶋 言ヲ笠ヒ

嵐

冬木神仏特石川島女時守五首中

二

雲人ゝ荷向篤乃荷ゝ綿全珠情全幸全家雲団

履

志

ゝナノ七佳麻ノ降里多知平里改移ニアゝニ年久公午日公

枝

三

社御も不衛も吾吉行国支ゝ之特来通ゝ玉吾

鐘

四

皆全宿与教全者千刻全九柿君子之全宿森不膳力を

載

五

時守ゝ千鳴載教員宿原全改成不相も旅

久流詩寸

湯屋王寺

音様鬼ニ警ニ乱在久流詩寸ニ験ゝ綿与全遠好

多胃

土　婦婦ヨク続ケ多胃打麻酔績時ニ座波ヤヲ

針

付針紙
須堤紙

河信子亭三一番

巾　吾有子ニ毫毛流長ク針目石落入全家良ク我情前

土　針着有仲炊ク吾有持着ヲ以吾半爛絶幻ク緒

戒厳大佯家務池幸孝贈藏三四番中三番

人　算報ハ

人　芳剣之路等利吸ヲ吾ニ全北吾遠佐着波お始ヲ北張絶字原郷

久　利名遠神府ニ乳業教会ニ佐ヲ目ヲ半全大長佐ヲ安流乳膳ヒ子ヲ安成

右ヲ一通報ヲ有脱漏ヲ有候ヲ

更孝贈ヲ二番中　乗時ヲ脱字ヲ十月十吾撤物ヲリ

人　波孝ヲ久路ヒ孔吸多波利吸須堤ヲ久路佳麻吸表全ヲ吾全作績ヲ

薬

変大佯ニ家特贈須ヲ大嫁ヲ十五番中

巾　幸有代全吾有孝員全事絶ヲ如ヲ阿於絶流薬有

境

栗田女児子贈大佯ニ家特ヲ二番

巾　遠遠便ハ石ヲ着行境ヲ底宮吾着底成全家額

飯

有周室子自傷絕於枝亭二昔中
家有者旨今感飯平草朮樣今有者粗食平今感

酒 付鹽

大宰帥大伴卿讃酒亭十三首

驗无物平念者一坏乃濁酒平可飲有良哉
酒名平聖跡負哉昔大聖乎言乃宜乎
古平七賢乎敬為物者酒西有良哉
賢汝平言後者酒飲与醉平為有良久
將言為便將乃俗乎為者猿尓有酒西有良乎
中今人平不有者酒壺二成与師鴨酒二益賣
痛醜賢良平乃跡酒不飲人平與見者猿二鴨似
價无賀跡言十方一坏乃濁酒今賣目八方
良之玉跡言十方酒飲与情平遣今賣者目八方
也間之指通今參者酔泣乃今一有良哉
今世今之樂有者来生有蟲今鳥今与吾羽為武
生者遂无死物今有者今在間者樂之有者
歎乍与賢良乃者飲酒与醉泣為今与不如来

十一　權ら集会教誡布度頭ニ株城嘆悦面影参加見集
到筑前志摩郡ら轉事船泊經三日北附庇何ら支映・歌ら・歌
は気株情嘆谷陳心清新ら載ら一六首中　大利信

五　権ニアレトヨル八尖トもしのルしら山ニテイもろこ丁てれろ
書ニ天皇前村太ニ天皇町製ら一首中一集ニ大ら集ニ一首大ら信

二　歌大物取業ら福治産ニ入登不言八面有男雲

火

十一　中ニ二十　色音ら谷　焼流大乱結久見本尾

五　義出久通乃食我ニ手久里ら・ら也伏俾岩板数年女来張大気我面

煙

十一　中ニ二十　色音ら谷　焼流大乱結久見本尾

結付書湯

十三　八ニ一ニ　ら也ニ丁ら也棒津ノ権橋信来仇アムサム

書湯　三首中　相撲国

十六　阿之我利結乃比結ら布知冬伊皇清湯結余全多歌良冬好高ら綾ら

衣服　額田王下辺国作ら

一　緯麻形乃林始乃使部棒結衣冬音成月今群久和我分
右ら首ら今来不似私ら但着今載ニ此次ら福高載　草

一 馬野牟流堅ノ衣服弓矢等ヲ盗ム者事

大納言人主宣旨偁

頃者海人塩焼衣乃故服旧弊ヲ有者繁

大納言大伴卿新発賜橘清友主偁

吾衣人莫着雪細ク為難波壮士乃手ヲ着雑鮫

陽成主弁賜弓二首中一

筆衣形ノ小奉有細ク枕不離妻ヲ左右座

姓 後歌弓

七　凡吉服之麻之糸者離生腸漬女手紡之縫机帛
　　及歌方下生糸者染吾妹乳備吾為者染着之糸
七　又為手力労之織在衣服斜者吾何之擣着吉
七　凡造班衣服面就吾今来服友　集会寺三百　吾机
七　紅衣深緋欲着丹穂ス人下之
七　千各人緋之縫ス我ス物白麻衣
　　深衣人皆士事之如三四時往欲服可合
七　凡今吾之合着下服与濃今師机手取与時着ス方
　　ス之陰之ク衣下取着ス事将成ス

七　桜　解曜衣薄縹欲服ス山藍ス下同
七　橘之濃ノ之后着何遠石服縫之吾下衣
七　鴨頭草丹服色取椙目俾移変色俾之吾ノ
七　年毎二衣ノ之ク之ス之ス二之テノ、千八百ヒ之ス
九　衣二人世在八方治衣年衣者夜昼全縫中　二百中
十　秋新菜今之衣成流衣吾之服ス者挙夜之害全
十一　酢衣色乱下深縹浅生吾ス着反鴨
十一　ア丹ク千二ワ三ハ有ノ之カ衣ク之ア公ヒ之テ之ス之ヒ
十一　ヨ之ス之ヒ之テ之ス之ヒ之ス之ヒ之ス之ヒ之ス之ヒ

十六 褶衣[illegible]

十六 [illegible]

十六 並頭[illegible]

十六 [illegible]

十七 [illegible]人[illegible]

十七 [illegible]

十七 衣[illegible]

右二首云衣[illegible]

十八 衣言[illegible]時吾妹[illegible]服[illegible]

咊服遠急会一重衣一人服採

十二 金今言者誰事前衣乃此須羽從言有詞詰

十二 [illegible]在流君手衣今有者下毛[illegible]吾今有家当

十三 穣之袷衣[illegible]今[illegible]有吾時[illegible]八方君之来座

十三 紅[illegible]衣浅今相見之人今戀皆日[illegible]

十三 年之經者見人[illegible]答妹之言出衣乃緒目見者[illegible]

十三 穣之一重衣[illegible]吾時有[illegible]故逢須[illegible]

十四 [illegible]

十四 桃花褐[illegible]衣今念与妹今[illegible]

十九　袖解て御前にて撃日判官宮通り仍丹吾裏破玉緒念歩寝在ル人

袖　阿信女の屋部坂ゟ一首

三　人不見ハ着我袖開手将隠手而焼ケ手将有不服ゟ来

丹頃貝人ゟ歴孤ゟ国府作ゟ一首ゟ并短ゟ

四　白細乃袖解更ゟ宿来月日手数ゟ経ゟ後ゟ

妹　ゟ別ゟ日往白細乃夜行数恋寝ゟ寝而

六　向嬉ゟ　有間結奴我妹ゟ我ゟ吹宮ゟ不心振四ニ

七　真袖将床ゟ併君給ゟ吾ゟ間谷月額ハ

悔ク則寝ル日乱ゟ吾袖ゟ妹不相ケ

ゟ名ゟ立ゟ人ゟ言ノコヨヒハ千ゟ度人ゟ告ケ

三　ヒロタノソナノロカニ今ゟセシトソセシ多ゟ子教ケル名　此前

四　多ニクラ名ゟ上ク居ル人ゟ子ニソテクラスニ手ゟ口ニソ多ゟ事ゟセ　以

五　妹ゟソテロシテ手ニヒリテ人ヒトヒニテイセソロタセソヤ

右一首　長忌寸一三首

六　ワカセコカケタシニコロハシ袖ソテラ井子見ツヽ人公

石ゟ首嬢子ニ別世歌作ゟ一首中

帯

更大伴ゟ家持贈坂上大嬢ゟ十五首中

一重耳妹之将結帯乎尚三重可結吾身者成

去家之倭文旗帯乎結垂孰云人毛君者不益

古之倭織之帯乎結垂誰之人毛君尓波不益

紫帯之結毛解毛不見本名哉妹尓恋度南

二無恋乎思常帯乎三重可結我身者成

紐

中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首

獨寝而絶西紐緒忌見跡世武為便不知哭耳之曽泣

阿倍女郎　答歌

吾以在三相二搓流絲用而附手益物今曽悔寸

天平元年己巳冬十二月廿一日

笠朝臣金村

九 [illegible]

十 狛錦紐行叙床落迹祢留明晩来将未得者敢去得

十一 君恋浦經居悔我裏紐結手徒　人丸集中

十二 [illegible]

十三 [illegible]

十四 人眼見表結人不見裏紐開恋日太　寄物陳思

十五 [illegible]

約

七　西帝今但得ル所ノ服不並買ノ約ク尚自許里鴨

吉　ハ人ヨリ今民ノ人麻歌イモノヘシト君カ長家ニ忘ルヨキ

布

二　東細布往宮近敷達見社目言酢良来伝以同

吉　多衣ヘカ摂サスヘシリサノニナソアノ児ノ已許矣

七

仁

浜ノ綜手緒及終今雖有将絶ト

法華堂願安言寺別当僧住定用七廻ノ

功徳満機御寺

二

掌乃窓　等有ヨキ及祢神腹不見

巨妻　千頴限計妻第八

建長二年九月十二日書属

8N-1 "N"	K0.96	1

11+15

111+1